

こおりやま男女共同参画情報紙

シンフォニー

シンフォニー(交響曲)には、みんなの声を響き合わせたいという想いが込められています。

vol.60

2024 Spring



特集 シンフォニーの軌跡 ~これまでの歩み~	P2~3
郡山市男女共同参画推進事業者表彰	P4~5
LGBTQ相談員養成講座／人権講演会	P6
こおりやま☆キラリンさん座談会・続編 ~アクション宣言からの成果発表~	...	P7
男女共同参画課からのお知らせ	P8



特集

シンフォニーの軌跡

「こおりやま男女共同参画情報紙「シンフォニー」が今号で発行第60号、創刊から30年を迎えました。御愛読くださりありがとうございます。そこで、これまでの30年間のシンフォニーの歩みを、特集記事を紹介しながら、振り返ります。

「シンフォニー」では、男女共同参画に対する正しい理解と認識を深めてもらうため、年2回発行し、人権尊重、男女共同参画、女性活躍推進について各種情報を提供し、啓発を行っています。

これまでの歩み

シンフォニー特集

シンフォニー誕生

世の中と市の動き

教育委員会に「女性企画室」設置

「郡山市女性行動計画」策定

こおりやま男女共同参画情報紙として発行

2000.3	1999	1997.10	1996.10	1995.9	1995.3	1995.1	1993	1992
第13号		第7号	第5号	第3号	第2号	第1号		
男女共同参画社会基本法を特集		広報こおりやまと一緒に全戸配布開始	紙名「シンフォニー」に決定 シンフォニー(交響曲)は、みんなの声を響き合わせたいという想いが込められています。	市民編集委員決定／紙名愛称募集	市民編集委員の募集開始	創刊号発行 当時は「こおりやま女性情報紙」として発行		
	「男女共同参画社会基本法公布・施行							

市民編集委員

シンフォニーは、市民編集委員の皆さんと共に情報紙づくりをしてまいりました。

第4号(1996年3月)から第47号(2017年8月)までの22年間に渡り、市民編集委員の皆さんに取材・編集に御協力をいただき、今回、長く市民編集委員として携わっていただいた、安藤テル子さんに当時は振り返ってもらい、お話を伺いました。

私がシンフォニーとお付き合いさせて戴いてから10年以上に渡り、会社、病院など、本当に多くの事業所や個人を訪問させてもらいました。皆さん、働くことに対する楽しさと、自分に与えられた仕事を達成した時の喜びを話されていて、その表情は、生き生きとしていて本当に輝いて見えました。

取材で印象深かったのは、病院を訪問した折、病院内で働く保育士さん達の話を持った時のことです。看護師など病院で働く職員のお子さんの笑顔がなければ職員も安心して働く事が出来ないと言われ、話されていました。

取材を通して、数多くの方々の物事にチャレンジする姿に出会うことが出来たのもシンフォニーのおかげと感謝しております。



安藤 テル子 さん

長年市民編集委員として活動していただきました。

インタビュー
Interview

2023	2022.8	2022.3	2020	2018	2015.3	2012.3	2011.8	2010	2003.8	2003.3	2002.10	2001
	<p>第57号</p> <p>郡山市男女共同参画センター (さんかくプラザ)開館20周年特集</p>	<p>第56号</p> <p>「コロナ禍における女性の貧困を考える」、 「多様性を認め合うために」特集 コロナ禍における生活に困難や不安を抱えている女性に 焦点を当て、相談機関を紹介。多様な価値観を認め合う には、無意識の偏見・思い込み(アンコンシヤス・バイアス) に気付くことの必要性を紹介。</p>			<p>第42号</p> <p>郡山市女性活躍推進事業「郡山市は女性の 活躍をバックアップします」を特集</p>	<p>第36号</p> <p>震災・復興と男女共同参画を特集</p>	<p>第35号</p> <p>東日本大震災(2011.3.11)により4月 の発行中止。一部差し替えて8月発行。 災害・復興と男女共同参画の記事を掲載</p>		<p>第20号</p> <p>郡山市男女共同参画推進条例 (2003.4施行)を特集</p>	<p>第19号</p> <p>男女共同参画都市宣言を特集 男女共同参画フェスティバルを初開催</p>	<p>第18号</p> <p>郡山市男女共同参画センターの 愛称が「さんかくプラザ」に決定</p> <p>市民公募により決定!</p>	
<p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の 位置付けが2類から5類に移行</p>	<p>郡山市男女共同参画センター (さんかくプラザ)開館20周年</p>	<p>郡山市男女共同参画センター 「第二次こおりやま 男女共同参画プラン」策定</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の流行</p>	<p>「女性活躍推進法」公布</p>	<p>郡山市男女共同参画センター (さんかくプラザ)開館10周年</p>	<p>3.11東日本大震災</p>	<p>「郡山市男女共同参画推進条例」施行</p>	<p>「第二次こおりやま 男女共同参画プラン」策定</p>	<p>「郡山市男女共同参画推進条例」施行</p>	<p>組織改編により、「男女共同参画課」設置 県内初の男女共同参画センター設置 「郡山市男女共同参画都市」を宣言 男女共同参画フェスティバルを初開催</p>	<p>「郡山市女性行動計画」を見直し、 「こおりやま男女共同参画プラン」策定</p>	

まちづくりネットモニター調査 〈令和5(2023)年度第1回〉を実施



まちづくりネットモニター調査とは、市民の皆さまの意見等をお聞きする取組みの一つとして、市民モニターの方が、インターネットを活用して行う市政アンケート。

広報手段の有効性の確認や今後の取組みについて、市民の皆さまの意見を活用するため、アンケートを実施しました。アンケート結果の一部をご紹介します。

●シンフォニーの認知度

「内容までよく知っている」…………… 19.5%

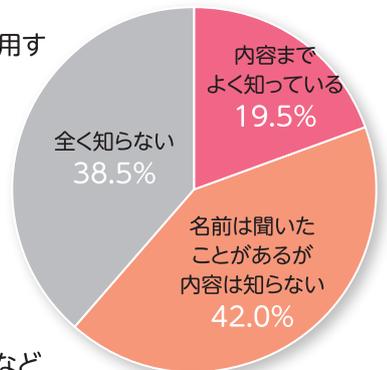
●男女共同参画に関する情報を得る方法について

「これまでどおり男女共同参画情報紙シンフォニー」…………… 19.2%

「広報こおりやまの特集記事」…………… 66.7%

<意見(自由記述)> ・広報こおりやまの中に組み込んでほしい

・広報こおりやまに掲載したほうが広く読んでもらえる など



シンフォニー認知度

今後は、「広報こおりやま」や市ウェブサイトでも
男女共同参画や人権に関する情報をお届けいたします。

これまで発行したシンフォニーは、市ウェブサイトでもご覧いただけます。ぜひアクセスください!



市男女共同参画推進事業者表彰 者の皆様おめでとうございます!

社会福祉法人郡山清和救護園



理事長 難波 朝重 様
(業種) 医療・福祉



- 長年、QCサークル(小集団改善活動)に取り組み、利用者の皆さんに喜ばれる福祉サービスの提供や職員が働きやすい職場環境の整備
- 日常業務を通して、女性が能力を発揮できる場の推進



株式会社北斗型枠製作所



代表取締役 遠藤 正成 様
(業種) 製造業



- 全社員が毎月1つ改善提案を行う、業務効率化の取組
- 製造の現場に女性を配置
- 性別にとられない業務体制



女性の活躍推進や仕事と家庭の両立支援など、誰もが働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる事業者を表彰しています。今年度受賞されました4事業者の取組をご紹介します。

- 援護化学株式会社
- 社会福祉法人郡山清和救護園
- トヨタカローラ福島株式会社
- 株式会社北斗型枠製作所

男女共同参画推進事業者表彰の概要や過去の受賞者はこちらからご覧ください。



郡山 受賞

援護化学株式会社



代表取締役 滝田 吉宏 様
(業種) 建設業



- 社員が相談しやすい環境整備
- ISO9001※による改善制度
- 点検業務を行える女性社員の配置
- 消防団への協力など地域活動への参加

※ISO9001とは、顧客満足の向上を目的とする品質マネジメントシステムに関する国際規格



トヨタカローラ福島株式会社



代表取締役 佐藤 良也 様
(業種) 卸売・小売業



- 女性の新卒採用率の向上
- 女性管理職の登用増加
- 女性スタッフ勉強会等、女性活躍の推進
- 平成25年度に初受賞し、さらに進んだ取組で今回2回目の受賞



LGBTQ相談員養成講座

令和5(2023)年11月5日(日)

令和5(2023)年6月の「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」施行を受け、相談できる体制作りのために初開催しました。

第1部 基調講演

講師 前川 直哉 氏

(福島大学教育推進機構高等教育企画室准教授)

内容 性的マイノリティの用語解説、日本の現状、海外での取り組みなどLGBTQに関する基礎的な内容を学びました。



受講者の声

- とても分かりやすい講話でした。様々な方がいるということ念頭に接していればと思います。
- 言葉、用語を正確に知ることが差別を減らすことなど、多くのことを学ぶことができました。



第2部 ワークショップ

講師 プライドハウス東京レガシー 前田 邦博 氏・佐藤 氏

内容 支援者として留意したいこと、ケースワークの原則など、相談を受ける際の注意を学び、ワークショップでは家族や本人から相談を受けた場合の事例について、話し合いました。



受講者の声

- 多様な考え方、別の視点からの考え等を知り、今後支援者として実践していくにあたって多くのヒントを得られました。
- 3つのケースについて話し合いましたが、それぞれ考え、意見が異なっていて面白かったです。共感することの大切さを再認識しました。

人権講演会

令和5(2023)年12月10日(日)

テーマ 誰もが人間らしく尊重しあえる社会を目指して

講師 湯浅 誠 氏

(社会活動家、東京大学先端科学技術研究センター特任教授、認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ理事長)

内容 人権を「人とのつながり」という観点から考え、子ども食堂の活動を中心としたお話をいただきました。望まない孤独や孤立を生まないために必要な地域の居場所づくりや見守りについて理解を深める有意義な講演となりました。



受講者の声

- 「つながり」の必要性が理解できた気がします。
- 自分らしく、人間らしくいられるためには、人と人とのつながりが大事。見ていてもらえる環境が必要であることなど大変分かりやすく、納得できるお話でとても良かったです。
- 子ども食堂が子どもだけを対象にしたものではないのだと知ることができました。これからの時代、居場所づくりが大事であると感じました。

前号の
アクション宣言から
どんな変化が?

※前号は、市ウェブ
サイトでご覧いた
だけます。



こおりやま 座談会

続編



Koriyama
キラリンさん

☆キラリンさん

テーマ:自分の得意なことを活かして「共創」したい未来

ひとりひとりが
自分や他者に寛容になって、
主体的に多様な選択肢から
自分の生き方を選べる社会

令和5年秋号(59号)では、こおりやま☆キラ

リンさん5名の方に「未来を実現するために自
分ができること」について考えてもらい、自分の
得意を活かした「わたしのアクション宣言」をし
てもらいました。

今号では、アクション宣言をして行動できた
こと、一歩前に踏み出したこと、新たな気づき等、
どのような変化や成果があったのかお話を伺い
ました。

アクション宣言!!

コワーキングスペースを活用
して、多様な気づきや学びを得
られる「場」づくり、情報発信



さんべ かな
三部 香奈さん
(一社)グロウイングクラウド
代表理事

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けも変
わり、最近では「リアルな場」づくりもやって
います。皆さんと「リスキリング(※1)や
「仕事を若者に教える」など、交流の場作り
を一緒につくってほしいなと思ってしています。
それがコワーキングスペース(※2)や地域ク
ラウド交流会とあっていて、今後も皆さんに
ご協力をお願いしながら、一緒につくってい
きたいと思っています。

※1:リスキリング(学び直し)・・・新しい状況に適應するた
めに、必要な知識やスキルを学習すること。
※2:コワーキングスペース・・・業種も世代も異なる人たち
が同じスペースを共有しながら、仕事をする場所。

アクション宣言!!

自分らしく生きるための
選択を法律的にサポート
します!



あべ あみ
阿部 亜巳さん
弁護士法人フレイス法律事務所
弁護士

「選択をサポートする」上で、そもそもどつ
い選択肢があるかを伝える情報発信の重
要性を実感しています。いろいろな選択肢の
中から、自分らしく生きるための選択肢に
結び付けられるような情報発信をしていき
たいです。法律の世界は硬い印象があるかも
しませんが、法律は皆さんの日常生活に深
く根ざしているものなので、法律を身近に感
じてもらえるような活動をしていきます。

アクション宣言!!

ステップアップするた
めの土台づくりをするお手
伝いをします!



あべ はるえ
阿部 治江さん
合同会社ルピナスデザインオフィス
代表・建築士

これからの子ども達の「建築士になりた
い」という想いを盛り上げていくために、「お
菓子の家づくり」のワークショップをやっ
ています。出来る上がる家の絵を描いてもら
うなど、子ども達に作ることの楽しさを教
えています。
創造性を育みながら、夢を目指すステッ
プアップのお手伝いをしていきたいと思
います。

アクション宣言!!

わたしらしくを
一緒に創る



すがい えみ
菅井 恵美さん
郡山市
地域おこし協力隊

カフェを営まれている方から「新たに、わたし
らしく取り組みたいことがある」と相談を受け
ました。一歩踏み出したい気持ちが芽生えた時
に、一番に私を思い出してくれたことが嬉しか
つです。これまで心掛けてきたことが芽を出して
きているのかなと実感しました。引き続き、知
識を入れることを続けていき、時代の変化など、
日々変異しながら「わたしらしく」を目指して一
緒に創り上げるお手伝いをしていきたいです。

アクション宣言!!

半径3m以内の
人の事を大切に



たなか たけし
田中 豪さん
おしごと百貨店 マネージャー
(一社)SFM 代表理事

半径3m以内の人を幸せにするという目
標は、ライフワークだと思っています。また、
まだまだ継続していきたいと思っています。また、
昨年度は(一社)SFMとしては久しぶりに
子育て中の女性の就労支援を実施して
みて、より良いものが出来るのではないかと感
じました。改めて、子育て中の女性の就労支
援について考える時間を、今の暮らしのリ
ズムに組み入れようと思いました。

皆さんも身近なところからアクション宣言をしてみませんか?
自分の考えや意志、目標などを宣言することで、日頃の意識や
行動が変化するきっかけになるのではないのでしょうか。

こおりやま☆キラリンさんに
登録しませんか?

詳しくは市ウェブサイトをご覧ください。▶



男女共同参画課からの お知らせ



問い合わせ先
郡山市 市民部 男女共同参画課
電話 024-924-3351 (受付時間 平日8:30~17:15)
メール danjokyoudou@city.koriyama.lg.jp



さんかくプラザ休館について

施設改修工事のため、令和6(2024)年6月から令和7(2025)年3月まで休館します。
休館中のさんかくプラザ各種講座等は別会場で行う予定です。
ご不便とご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。
なお、休館期間の変更等につきましてはウェブサイトでお知らせいたします。



犯罪被害者等見舞金等について

犯罪被害者等が被害直後に直面する生活への不安を解消し、
経済的負担の軽減を図るために令和6(2024)年4月から見舞金等を支給します。
支給要件の詳細はお問い合わせください。



種類	金額	対象(※)	要件
遺族見舞金	600,000円	ご遺族	死亡
重傷病見舞金	300,000円	ご本人	療養1か月以上かつ入院3日以上など
転居費用助成金	200,000円(上限)	ご本人	従前住居に居住困難になり、新住居に転居

※犯罪被害が行われた時において、市内に住所を有する犯罪被害者の方、またはご遺族。

広告

コンクリート二次製品用鋼製型枠製造販売
型にはまらず 枠を越えた未来を創る



株式会社 北斗型枠製作所

代表取締役 遠藤 正成

〒963-0531
福島県郡山市日和田町高倉字藤垣 1-2
TEL: 024-958-4748 FAX: 024-958-4231
[本社: 郡山 工場: 郡山/岡山]



広告



TAKAYANAGI

高柳電設工業株式会社

代表取締役 國津 一洋

〒963-8851 福島県郡山市開成6丁目120番地
TEL 024-922-1480 (代) FAX 024-922-2427

広告

未来を創る、ロハスエンジニアになろう!



日本大学工学部

土木工学科 建築学科 機械工学科

電気電子工学科 生命応用化学科 情報工学科



〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1
TEL.024-956-8600(代) FAX.024-956-8866

広告

安心の Engo 消火器
消防設備保守点検・工事・避難訓練

ISO9001
認証取得



援護化学株式会社

代表取締役社長 滝田 吉宏
本社 郡山市図景1丁目17-24
☎(024)932-0440
<https://www.engokagaku.co.jp/>

